

なかよく、 たっぴやて、 きはる子

朽木東小学校だより第9号
令和7年11月25日
文責：校長 岡本 等

人と人をつなぐ力＝コミュニケーション力

11月15日（土）と16日（日）の二日間にわたり、滋賀県人権教育研究大会（高島大会）に参加してきました。一日目は全体会で講演を聞き、二日目は分科会に参加してテーマに沿った話し合いをしてきました。

私が参加した分科会では、小学校PTA、高等学校PTA、青年団、企業の方々がそれぞれの取組を発表されました。内容の詳細はここには書けませんが、「人と人をつなぐ」をテーマに、PTAの存続の問題、世代間の意思疎通の難しさなどを話し合う中で、学校がこれから取り組むべきことを考える貴重な時間になりました。分科会の最後に企業から来られた提案者に、「企業の立場で、小中高の子どもに学校はどんな力を育てるとよいと思われませんか？」という質問をしました。答えは「コミュニケーション力」でした。私は「なるほどな」と思うと同時に、「やっぱりな」という思いになりました。特に本校のような小さな学校の子どもたちには必要な力だと思います。

本校が取り組む学校行事や学習活動の中には、コミュニケーション力の基礎を身につける取組が多くあります。ただし、大人がそのことを意識しないと充実した活動になりません。各家庭でも、「今日の〇〇はどんなことをしたの？」「どんなことが分かったの？」「どんなこと思った？」など、お子達との会話のきっかけにしていただければ幸いです。

コミュニケーション力に注目しながら、学校の取組を紹介します。

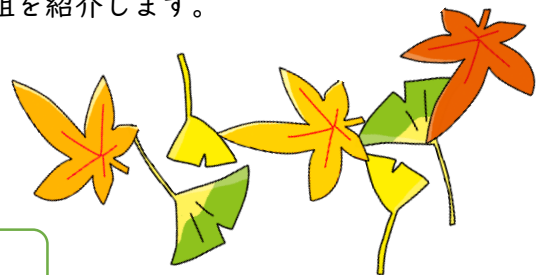


発表する力も自分を表現するコミュニケーション力の一つです。上から、朽木文化祭での1・2年生、初めての一年生ものびのびと歌うことができました。まん中は、5・6年生、高学年らしいよい演奏でした。下は市音楽会での3・4年生、8人ですがホール中に響く声で歌えました。

うまく演奏できて
よかった！

発表は緊張するけど楽しい！

発表はちょっと苦手かも～



修学旅行の学びは平和と会話



6年生が修学旅行に行ってきました。学習のメインテーマは“平和”と“歴史”ですが、旅先でのいろいろな人との出会いも大切な学習になります。

左の写真は、外国の方へのインタビュー場面。はじめは戸惑っていた子どもたちも後半は積極的に声をかけていました。上の写真は夕食の場面。目の前の鉄板で“広島焼”を作ってもらいながら、お店の方と楽しく会話をしました。友達や家族以外の方との出会いもコミュニケーション力を伸ばすよいきっかけです。

BUT でつながろう ・ BUTで知ろう中学校のこと

朽木中学校区の特徴的な取組の一つ BUT。今回は小4と中1、小5と中2、小6と中3のペアで活動しました。

中1の皆さんが用意したのは人間関係作りのプログラムで、活動中そっとフォローする優しい先輩としての姿を見ることができました。中2の皆さんが用意した英語活動では、自己紹介などをおして友達や後輩の新しい一面を知ることができました。中3の皆さんには中学校全員が取り組んでいる太鼓を教わりました。後日、文化祭での演奏を聞くときの態度は真剣でした。

このように学校を超えて人と人がつながる機会もコミュニケーション力の育成に役立っています。



1	月	1～3年ブックトーク、校内人権習慣(～5日)
3	水	学習参観、PTA研修会、PTA役員会
4	木	4.5年読み聞かせ、園小 BUT(5-5 交流)
5	金	委員会活動 6年どんぐりプロジェクト(ひびきあい)
9	火	特別支援学級交流会(朽木・新旭)
10	水	3年食育学習、5年工場見学(Horizon)
11	木	1年読み聞かせ
12	金	クラブ活動
16	火	「和の時間」(箏演奏)
17	水	地区別児童会
22	月	給食終了、学級懇談会 13:10 下校
23	火	終業式 11:20 下校

前述の分科会で、人と人がつながるうえで世代間の感覚や習慣のズレが気になるということが話題になりました。皆さんはどうですか？

LINEで上司や先輩から連絡が来たら？
読むだけ or 返信する

年配は「既読」になっても返事がないと伝わっているのか不安になるが、若い人は「既読＝了解」なんだそうです。コミュニケーションをとるうえで、こういう理解もお互いに必要なんですね。